様式２

**ひきこもり状態にある者のためのオンライン居場所運営業務**

**企　画　提　案　書**

業務概要

|  |  |
| --- | --- |
| 本店、支店または営業所の所在地 |  |
| 業務を実施するための関係先 |  |
| 類似業務等の実績 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 提案項目 | 内　　　 容 | 提　案　内　容 |
| １．業務内容に係る提案 | ア．オンライン居場所の開設・運営に係る業務【留意点】交流支援、学習支援、相談支援、その他支援及び関係機関との連携の内容・方法について、具体的で実現性のある内容を提案すること。【留意点】オンライン居場所を開設するにあたり利用するクラウドオフィスサービス（類似サービスでも可。詳細は仕様書を確認すること）の内容と目標支援実人数を記載すること。 | （１）　オンライン居場所運営の内容 |
| 1. 交流支援及びその他参加者が他者と安心して気軽に交流ができる取組など
 |
| 1. 学習支援
 |
| 1. 相談支援
 |
| 1. ひきこもり支援団体等関係機関との連携
 |
| （２）　オンライン居場所開設に利用するサービス及び目標支援実人数 |
| 1. 利用するクラウドオフィスサービス（類似サービスでも可。詳細は仕様書を確認すること）の概要
2. 目標支援実人数
 |
| イ．広報【留意点】ホームページ広報の概要、チラシの配布計画、参加を促す独自の工夫等、広報全般の内容を具体的に提案すること。 | （１） ホームページ広報及びチラシ配布の方法等 |
|  |
| （２）　事業周知にあたっての独自の工夫（ひきこもり当事者が参加したくなる仕組み等） |
|  |
| ２．業務の実施体制等 | ア．実施体制【留意点】業務を行うための実施体制（開設時間、人員等）の内容を具体的に提案すること。（居場所は月８回以上・1回4時間程度開設し、月1回1時間以上は17時以降の開設とする。） | （１）　居場所の開設時間、人員体制等（人数、資格等） |
| 1. オンライン居場所の開設時間
2. 人員体制及び資格等
 |
| イ. 実施方法【留意点】「１ア．オンライン居場所の開設・運営に係る業務」を効果的に進めるための業務の内容について具体的に提案すること。（支援者の受付、定期アセスメントの実施、居場所での参加者間のトラブルを防止するためのルールの概要など） | （１）支援者の受付、定期アセスメントの実施など |
| 1. 支援者の受付方法

②　定期アセスメントの実施、変容状況の把握・報告、支援者記録の作成・保管方法③ 居場所運営にあたっての参加者ルール概要 |